

いま、子どもたちを守るために 知っておきたい放射能のこと

2011年3月の福島原発事故以来、放射性物質が降り注いでしまいました。
そして、徐々に汚染の実態が明らかになってきました。
低線量の内部被曝が長期化した時に、
子どもたちが将来どんなリスクを負う可能性があるのか、
私達は知らない事が多い事に気がつきました。
あふれる情報…『安全』という言葉の中にもつきまとう『不安』。

私たちは、確かな事実を知り
乗り越える知恵と情報がほしいのです。
その上で何をどう防ぎ、どう引き受けることが出来るのか、
ひとりひとりが選びとるために。

今回はベラルーシの子どもたちを保養させる活動を
19年間続けてきた経験に基づくお話を
野呂美加さんにお話していただきます。



【野呂美加さんプロフィール】 NPO 法人チェルノブイリへのかけはし代表。
25年前に起こったチェルノブイリ原発事故被災児童を1か月間、
空気や水のきれいな日本で保養させる活動を1992年に知人と始める。
これまでに招待した子どもは19年間で648人。
2005年国際交流基金より「地球市民賞」受賞。
福島第一原発事故発生以来、各地で主にお母さんたちのためのお話会を開催している。
現在は、夫と大学生の娘と3人暮らし。

NPO法人チェルノブイリへのかけはし <http://www.kakehashi.or.jp/>

日 時：4/16(月)19：00～20：30 (18：45 受付開始)

会 場：沼田市保健福祉センター2階 機能訓練室

参加費：無料

※お子様連れでも大丈夫ですが、
会の進行の妨げにならないようにご協力ください。
また参加される方もご協力くださるとありがたいです。



共催：ふるさとと子供たちを放射能から守る沼田学習会

NPO 法人 EM ネット群馬

協力：NPO 法人利根沼田地域ボランティアセンター

問い合わせ 090-4064-4774 (上原)

090-8809-7746 (風間)

090-4067-3462 (黒田)